



さいほく

No.155

発行 犀北団地公民館
 発行人 岸 洋造
 編集 文化教養部
 印刷 (有)丸山印刷

犀北団地どんど焼き

本年度最後の公民館行事『どんど焼き』が、1月8日(成人の日)に中央公園で行われ、大人と子どもも合わせて約130名の皆様の参加がありました。

前日の夜からの雪で足元は悪かったもののお天気に恵まれ、無事に開催することが出来ました。

役員は前日朝から集会所で備品の準備と中央公園の竹組みを行いました。

当日も13時から、会場の設営や参加者にお渡しするお土産の仕分けをして準備を進めました。



小学生の子ども達も張りきってしめ縄などお正月飾りを集めてくれて、いよいよ櫓の完成です。



午後3時に着火。しめ縄などがお焚き上げされ、煙ののって天にお戻りになる年神様をお見送りし、今年一年の無病息災をお祈りすることが



出来ました。今年も感染対策をしながらの開催ということで、熾火によるお餅焼などの飲食を控えていただきました。楽しみにされていた方も多かったと思います

が、ご理解・ご協力をいただきました。ありがとうございます。

秋祭り

運動会(ニュースポーツ体験会)

10月8日(日)に集会所において運動会(ニュースポーツ体験会)が行われました。

地域の方と小学生の子ども達が参加してポッチャ、デイスゲッター(フライングディスク)、フロッカー(フロアカーリング)のニュースポーツ体験会が行われました。

ポッチャは4チームのトーナメン

ト制で行われ、大人と子どもの混合チームで協

力しながら試合が進んでいき、一球毎に歓声やため息が聞かれ白熱した試合が続きました。

表彰式では、参加4チームそれぞれにメダルが授与され、大人も子どもも満足気な様子でした。

デイスゲッターとフロッカーは体験会として試合の合間に子ども達が挑戦している姿が見られました。

地域の大人と子どもが接する機会

が減っている昨今、チーム内で団結している姿が至るところで見られ、良い交流の場になったことと思えます。



文化祭(作品展示)

人権同和集会、運動会(ニユースポーツ体験会)と併行して会議室に



において文化祭(作品展示)も行われまして。以前よりも出品される方が減つ

てしまったとの話も聞かれましたが、絵画、写真、手芸作品、折り紙等幅広い分野の作品が展示され充実した内容となりました。また、小学生の自由研究、書道、図工作品等も出品され、文化祭に花を添えていました。

秋祭りを終えて

10月8日(日)に初の試みとして運動会と文化祭を合体させた「秋祭り」が集会所で行われました。コロナ禍での中止を経て4年ぶりの開催となりました。

団地内の高齢化、子ども達の減少もあり以前の規模には及びませんが、運動会(ニユースポーツ体験会)はゲーム形式となり、参加された皆様の楽しんでる姿が見られました。

役員は事前にボッチャ、フロックスカー(フロアカーリング)、ディスプレイ(ストラックアウト)のルールを県障害者スポーツ協会のの方に教えていただき、当日を迎えました。文化祭(作品展示)はお一人で何点も出品していただいたり、育成会のお声掛けで子ども達の作品も数多く展示することができました。秋祭りにご参加、ご協力いただいた皆様ありがとうございます。

人権同和集会

10月8日(日)、秋祭りに合わせて集会所で人権同和集会が行われました。

午前10時から安茂里地区人権推進委員の米山様を講師にお迎えし、講話、DVD観賞、意見交換会がありました。意見交換会には17名の参加があり、認知症、差別、いじめ等について日頃感じていることを話し合いました。

「時代の変化と共に地域内での挨拶や繋がりが少なくなり傍観者が増えていく」との意見がありました。「将来に不安を感じる方々も、何重ものセーフティネットを作り情報を共有し、人との繋がりが密になれば、結果的に地域の活性化になるのではないか」とのまとめがありました。

個人情報保護など難しい課題もありますが、地域での暮らしをより良いものにしたかったと思いは参加された皆様と共通して



防災訓練

1月8日(成人の日)13時30分から集会所において長野中央消防署安茂里分署の方を講師にお迎えし、区民の皆様13名が参加して防災訓練が行われました。元日に発生した能登半島地震を悼み黙祷を捧げ防災訓練が始まりました。

犀北団地は地震と水害が心配されることとです。

「地震発生時の初期行動は」

- ①頭を守りテーブルの下に入る
- ②火の元安全確認
- ③ブレーカを落とす
- ④屋内が危険な時は十分に気をつけて外に避難

「水害が心配されるときは」

水害は天気予報である程度予測可能です。レベル2でご近所同士で声を掛け合い、レベル3で高齢者避難、レベル4で全員避難が基本となります。

「119番模擬通報」

通報の際には、問いかけに答えるかたちで、火事か救急の別・住所・世帯主等を約5分間で伝えます。隊員の方は、通報が入ると直ちに出勤の準備をされているそうです。火災の場合、家屋の出火箇所を東西南北で伝えてほしいとのこととです。

「消火訓練」

消防隊員の方に消火器の使い方

教えていただき、練習用消火器を使用した訓練が行われました。

逃げ道を確認して風上から使用する。「火事だ」と叫び消火器のピンを抜く。ホースを取り出す。火元に近づきレバーを握り消火を開始する。消火器は約15秒しか薬剤が出ませんが初期消火には有効です。

災害時は自治会の果たす役割が大きく、ご近所同士の繋がりが大切になります。また、災害発生当初は被災者としての意識よりも自立した行動が求められるとのこと。近年、豪雨災害、大規模地震が多発しています。明日は我が身の思いで、避難場所の確認、防災グッズの準備と点検が必要です。



安茂里地区 スポーツの祭典

10月15日(日)に「第49回安茂里地区スポーツの祭典秋の部」が行われました。

ソフトバレー、マレットゴルフ、

スポーツ吹き矢教室、少年少女サッカー教室が開催されました。少年少女ティーンボール教室も開催予定でしたが、朝までの雨の影響で残念ながら中止になってしまいました。犀北地区からはスポーツ吹き矢教室と少年少女サッカー教室への参加がありました。

スポーツ吹き矢教室は、デモンストレーションを見せていただき体験会がスタートしました。

吹き矢を吹く時のポイントは、呼吸法と集中力とのこと。初心者は6mの距離からの挑戦でしたが、すぐに的に届く様子が見られました。



少年・少女サッカー教室は長野パルセイロの方をお招きして行われました。あいにくの雨で小市体育館を使用したの開催となりましたが、26名の子も達が参加、犀北地区からは1名が参加しました。経験者、初心者、ちびっこに分かれ、それぞれのコーチからの指導を受けながらサッカーを楽しみました。ちびっこはボールに馴染むことを中心に、初

心者は基礎的な身体の動かし方から足でのボールの扱い方、経験者は足でのドリブルが中心で、楽しそうにボールを追いかけコーチのアドバイスを真剣に聞く姿が印象的でした。ゴールポストが出てくると、経験を問わずどの子ども達も大喜び！ゴールポストを目掛けてボールを蹴る子ども達の目は輝いていました。



福寿会

年間を通して毎月15日に福寿会の資源回収が行われています。午前8時から10人程の役員の方がリヤカーや車で地域を回り回収されています。

収集品目は段ボール、新聞、牛乳パック、雑誌等です。ゴミステーションに出していただくか、ご自宅前でも回収していただけるとのことです。収集は雨でも行われていて、今までで中止になったのは大雪の時だけとお聞きしました。

役員の方が、集会所前に集められ

た資源物をテキパキと仕分けておられるお姿が印象的でした。取材に伺った日は、引き続き集会所横の花壇の手入れも行われていました。クロッカス、アイリス、ヒヤシンス、ゆり、チューリップの球根が手際良く植えられて作業が完了しました。花壇の手入れの他にも中央公園の銅像周辺の清掃、犀北団地バス停の清掃、安茂里小学校の見守り隊、盆踊りの練習、しめ縄作りのご指導等多岐にわたって地域のためにご活躍されています。

コロナ禍を機に、以前は年2回あった研修旅行は中止のままのようですが、忘年会や新年会は役員の方を中心に開催されているそうです。福寿会への加入は70歳以上の方が基本のことですが、65歳以上の方の入会も可能とのこと。カラオケ、マジック、マジックのサークル活動も行われていて、サークルの参加には福寿会への加入が必要です。

福寿会の皆様、いつも地域の様々な活動にご協力いただきありがとうございます。



クリスマス会

12月16日、育成会主催のクリスマス会が行われました。約40名の子ども達が集まり楽しいひとときを過ごしました。

「私は誰でしょう」ゲームでは8名ずつ5グループに分かれ、6年生が問題文を読みあげ解いていきます。3つのヒントから誰(何)をさしているのか当てるゲームですが、グループ内で一生懸命に考え答えがわかると、とても嬉しうでした。

その後はビンゴゲーム！すぐにビンゴになる子もいれば、「リーチが6個もあるのにビンゴにならない！」と笑いながら教えてくれる子もいました。景品は1位がミュージックミラーボール、2位と3位がブランケット、他にも貯金箱、小銭入れ、文房具などかわいらしい物が用意されており、子ども達は大喜びでした。

企画、準備も含め育成会の皆様お疲れさまでした。



じゅめ縄づくり

福寿会の方の手ほどきで、12月16日に集会所でしめ縄づくりが行われました。年神様が元旦に日の出と共にやってくるので、年神様の目印となるしめ縄を飾りお迎えすること、来年一年良い年になることができると、しめ縄の由来を子どもたちに分かりやすく教えて下さいました。



実際にわらでしめ縄を編む作業は経験の少ない大人でも難しいと感じますが、子ども達は見様見真似で一生涯命に取り組んでいました。所々：というよりも、だいたい福寿会の方にお手伝いをいただきながらも、「縄は左まわりで編むんだよ。」「これを飾ると悪い霊が入ってこないんだ。」など説明をまじえて下さり、子ども達も一生懸命に耳を傾けていました。出来

上がったしめ縄を手にとると、子ども達はとても嬉しそうでした。福寿会の皆様、子ども達のために丁寧なご指導とご準備をありがとうございました。

令和5年度 安茂里地区成人祝賀式

令和6年1月6日(土)に安茂里地区成人祝賀式が開催されました。会場の安茂里公民館には、安茂里地区の参加総数195名の内、犀北地区は10名(男性7名女性3名)の新成人の皆さんが晴れ着やスーツに身を包み、久しぶりに再会した友人と喜び合う姿があらこちらで見られました。

式典では荻原長野市長や裾花中学校時代の恩師の先生からのお祝いの言葉に耳を傾け、大人への第一歩となる門出をかみしめていくようにしました。

また、当日の様子には、式典に参加できない親御さんのためにユーチューブによりネット配信されていました。



一年を振り返って

公民館長 岸 洋造

早いもので、館長になって1年が終わろうとしております。5月にスポーツの祭典から始まり、7月の夏祭り、9月の敬老会、10月の秋祭り、1月のどんど焼きで、令和5年度の年間行事も何事もなく、無事終了しました。

これもひとえに自治会、福寿会、育成会の皆様をはじめとして、公民館の副館長・会計の三役および文化教養部・婦人部・体育部の役員の皆様が一丸となって四大事業を遂行できましたことに心より感謝申し上げます。

また、各行事に参加頂きました犀北団地の皆様には公民館活動にご理解、ご協力頂き、誠にありがとうございました。

コロナ明けで、ようやく予定したすべての行事が再開できましたが、参加者はコロナ前には戻りませんでした。コロナだけでなく、少子高齢化が影響しているのだからと感じました。

今後は、団地の皆様が進んで参加頂けるような企画を考えていきたいと思っております。

最後に今年度の公民館役員の皆様、年間本当にありがとうございました。